

中国でアフリカ豚コレラの発生を確認！

2007年にロシアでアフリカ豚コレラが確認されて以降、その発生地域が徐々に拡大しており、2018年8月、中国の遼寧省瀋陽市で本病の発生が確認されました！！

我が国に本病が侵入するリスクが高まっています！！

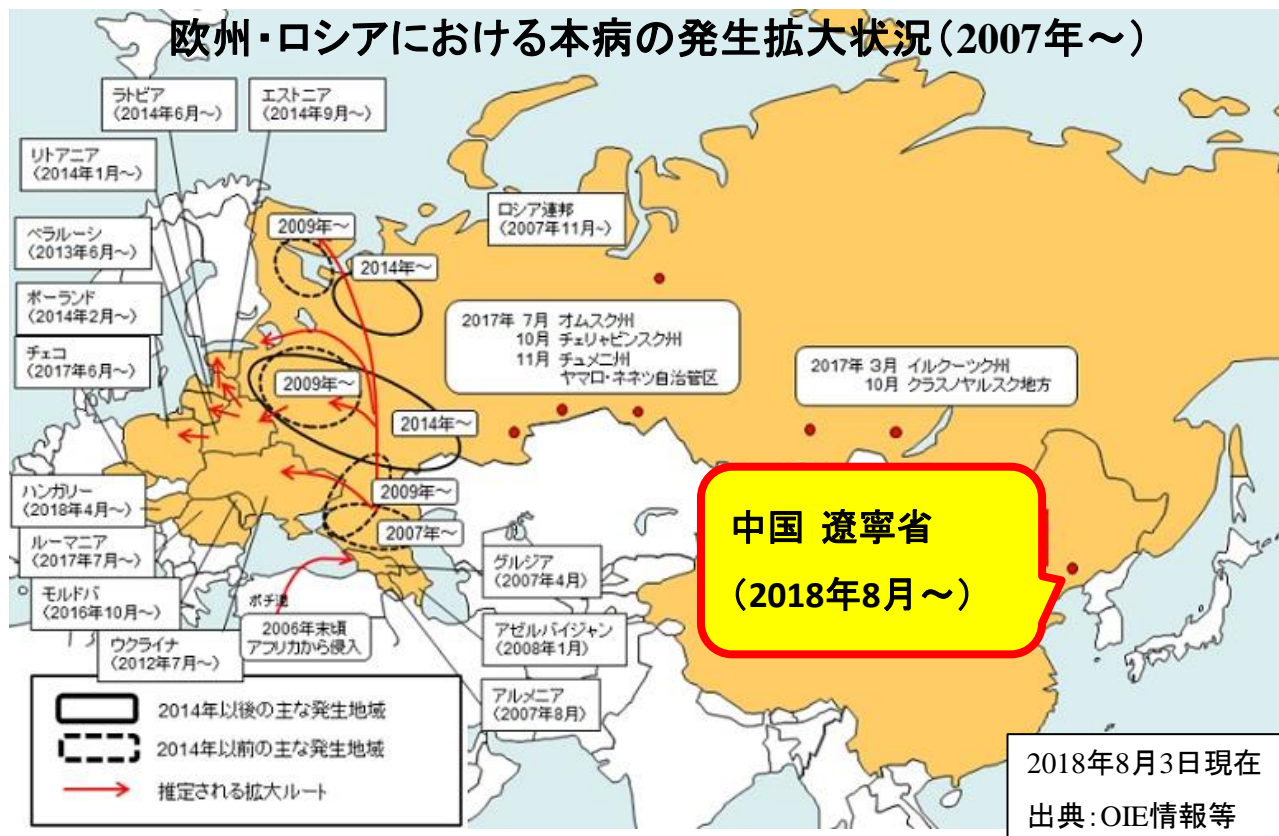
アフリカ豚コレラとは

病原体：アフリカ豚コレラウイルス

対象動物：豚、いのしし

症状：発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い伝染病

発生国：アフリカ（常在的）、ロシア及び周辺諸国でも発生確認



飼養衛生管理基準に基づき、生肉を含む可能性がある飼料を給与する場合は加熱処理(70℃以上で30分間以上または80℃以上で3分以上)

されたものを用いましょう！

(裏面もご覧ください)

飛騨家畜保健衛生所 (飛騨総合庁舎内)

〒506-8688 高山市上岡本町7-468

TEL: 0577-33-1111 (内線402)

FAX: 0577-32-9019

今一度防疫対策の再徹底を！

アフリカ豚コレラの症状

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40~42℃)、食欲不振、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。



写真出典：USDA APHIS Plum Island Animal Disease Center

農場へのウイルス侵入を防ぐために

飼養衛生管理の徹底！！！！

伝染病の発生予防、伝播防止のためには、各農家における対策が極めて重要です。

消毒の徹底

- ・車両、畜舎の消毒を徹底する。
- ※下に消毒方法例示有り

発生国への渡航自粛

- ・やむを得ず渡航する場合は畜産関連施設に立ち入らない。
- ・肉製品等を持ち帰らない。

野生動物対策

- ・農場柵の設置、豚舎の修繕等を行う。
- ・ねずみ、害虫等の駆除を実施する。

人、車両の出入り

- ・人、車両の出入りを記録し、1年以上保存する。
- ・関係者以外を畜舎にみだりに立ち入らせない。

を重点的にチェックしましょう。



家畜に異常が認められた場合はすぐに通報をお願いします

飛騨家畜保健衛生所 (飛騨総合庁舎内)

〒506-8688 高山市上岡本町7-468

TEL : 0577-33-1111 (内線402)

FAX : 0577-32-9019